

ご来賓挨拶



菊池稔参事官

在モンゴル日本国大使館臨時代理大使

この度の日本語教育シンポジウムの開催、心よりお喜び申し上げます。

始めに、モンゴルにおける日本語教育の最前線で日本語普及のため日夜ご尽力いただいている日本語教師の皆様に、この場を借りてお礼と敬意を表したいと思っております。

この日本語教育シンポジウムは今年で9回目を迎えております。毎回日本語教育に係る様々な問題について活発な議論が交わされていると承知しております。この度は対照研究がテーマということで、日本とモンゴルの言語や教育における文化の違いについて興味深い報告がなされるものと期待しております。

今年1月、円借款事業（工学系高等教育支援事業）により日本の高専へ留学する学生44名に証明書が授与されました。将来のモンゴルの発展には工学系人材の育成が重要であり、今後は日本語を学習する理工学系の学生が増加することでしょう。高い専門性を身に付けるにあたって、基礎となる日本語教育の重要性は今後一層高まると思っております。こうした中、多くの日本語教師の皆様がこれまで尽力してこられた日本語教育スタンダードの確立は、モンゴルを担う人材育成の礎となると考えます。モンゴル全土において質の高い一貫した日本語教育が実現することで、日本語学習者の裾野が一層広がり、より多くの優秀な日本語人材が輩出されるようになることを願っております。

本シンポジウムの実行委員長である齊藤先生、中村講座調整員をはじめ、モンゴル日本語教師会のプレブスレン副会長、ムンフツェツェグ先生、遠路お越しくくださった東京大学宇佐美先生、そして本日お集まりいただいたすべての皆様に、改めて深く御礼を申し上げます。そしてこの度のシンポジウムを通じたモンゴルにおける日本語教育のより一層の発展を祈念致します。

最後になりましたが、本日3月11日は、5年前に東日本大震災が起こった日です。その際にはモンゴルから大変なご支援・ご協力をいただきました。日本国民として、このご恩は決して忘れません。この場をお借りして、皆様の温かいご支援に改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。